



P T A 新聞 おきなわ

発行
(一社) 沖縄県 P T A 連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
T E L (098) 867-3582
F A X (098) 867-0309

責任者 宮城 光秀

初日の出 (波之上宮より)

撮影：伊波郁美



新年の挨拶

沖縄県 P T A 連合会 会長
宮城 光秀

明けましておめでとうございます。

皆さま。輝かしい新年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたします。

童話・お話・意見発表大会では、中頭地区 P T A 連合会の皆様と学校および地域の皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

昨年は特に、次の二つの課題に取り組みました。一つ目は、P T A の目的や意義を改めて発信し、理解を深めることです。そのため P T A の目的を「よい学校をつくる、よい保護者(親)になる、よい学習環境をつくる」の三つに整理してみました。二つ目は、より健

全で透明性の高い運営ができるように、適切な P T A 会計の方法を提案することです。単 P や市町村 P 等で利用できる P T A 会計の「ひな形」をつくり、皆様に提供できるように準備を進めているところです。

今年には特に、スマホの使い方や家族で話し合い、家庭のルールを作ることを「親子の水曜日」を推進すること。「子ども同伴での居酒屋などの利用は、夜9時までは帰らしましょう運動」を推進する等、時代に即した新しい活動を展開して、子ども達の学習環境の充実に向けていきたいと考えています。

本年も変わらぬご支援とご協力をいただきますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

関連

第60回

日本 P T A 九州ブロック研究大会

福岡市大会

(特集は4面)

告知 **入場無料**

親子で作ろう!

『スマホおきなわルール』

ネット被害から子ども達を守る

(仮題)

平成28年2月14日(日)
午後1:00~4:30

沖縄県立総合教育センター
(沖縄市与儀)

第9分科会参加報告

沖縄県 P T A 連合会

副会長 石川 謙

「ネットモラル・メディアリテラシー」について、福岡県・長崎県の P T A が実践発表を行い、スマートフォン急速な普及における環境の変化だけに注目するだけでなく、子ども達を取り巻くメディア環境全体を通して色々な活動実践が報告されました。共通で言える事は新たなメディアが登場しても、原点は、学校・家庭と地域において、取り組むことで成果を挙げている点だと思えます。また、家庭でメディア環境のルール作りを築き、単に、「ダメダメ」でなく、子ども達と会話し、家庭における会話を通して解決策を見つけていく事が重要であると認識させられた。学校・地域においては、他の P T A 実践活動等を参考に、独自の P T A 活動を実施し、取り組んでいきました。

このような問題は新しく発生したのでなく、過去に各単 P で実践した同じような事例を取り入れ、それに合った活動を毎年少しずつ実践することで、いい成果が現れると思えます。

第66回沖繩県小中学校童話・お話・意見発表大会

中頭大会審査講評 (まとめ)

(小学校・低学年・男子) 渡慶次小学校

1. 内容
 - ・どの子もよく覚え、堂々と役になりきっている。
 - ・表現者として素晴らしい。
2. 音声
 - ・とてもしっかり発声している。(腹の底から声が出ている)
3. 態度
 - ・人に伝えるために、自分も感動し、思いをしっかりと伝えていて素晴らしい。
 - ・県大会なので、時間オーバーしない指導をお願いしたい。
 - ・上手、下手、足の動きについては、指導者研でさらに理解を深めて欲しい。



(小学校・低学年・女子) 北中城小学校

1. 内容
 - ・どの作品も、人の心を打つ材料を含んだ内容であり、甲乙つけがたいものであった。
 - ・作品構成を工夫して、より感動的に伝わるものにするのが大切になる。
 - ・具体的には、物語の山場やクライマックスをよく考えて、どういう流れで話す人と聴く人へより感動を与えられるか、話し方の構成をもっと焦点化すると良い。(話し方が単調にならない工夫をする)
2. 音声
 - ・どの子も元々よく、堂々と発表していた。
 - ・登場人物になりきって発表していたことは、聴く人の心を引き付けていた。
 - ・大きな声で発声しよう

とするがあまり、不明瞭な発音や発声がいくつかあった。

・無理のない自然な声で発声することが大切。一つ一つの言葉を丁寧に発声して、強弱をつけながらも明瞭に話すことが最も大事。

3. 態度

・司会者に名前を呼ばれてから最後に席に着くまで、礼儀正しい態度が素晴らしいかった。間の取り方の工夫は、聴く人の心を引き付けるので、これからも努力して欲しい。

・多少、動作がオーバーな所が見受けられた。オーバー過ぎる動作は、感動で逆効果となる場合もある。話し方の構成と併せて、単調にならないようメリハリを持たせた方がなお良い。



4. その他
・見学してくれた北中城小学校の児童の聴く態度が大変素晴らしかった。



(小学校・高学年・男子) 山内小学校

1. 内容
 - ・戦後70年目の節目にあたり、平和に関することへの意識の高さが表れており、平和の大切さ(命をつないでくれたことへの感謝)が多かった。
 - ・学校生活の中から学校行事、部活動等の身近な材料を使って会話文や心の内なる声等をうまく活用して、文章構成を組み立てているのが良かった。
 - ・家族とのふれ合い(祖父母)を大事にしている様子がうかがえた。
2. 音声
 - ・聴く人を意識して、話し言葉(敬体)で表現するほうが良い。
 - ・聴く人によく聞こえる声で、明るくはっきりし

ていて、間の取り方も良くできていた。

・話し方が自然体で、内容が自分のものになっていて説得力があった。

3. 態度

・服装、容儀も良かった。

・上手、下手の意識を持たせる工夫が必要であった。(指導者へお願いしたい)



(小学校・高学年・女子) 北谷ニライセンター

1. 内容
 - ・戦後70年目ということもあり、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを体験やお話から、今生きている「感謝」と語り伝えていく

「使命」を訴えた作品が3点。

・命というテーマで「感謝の心」と「自己成長」へとつなげた作品が3点。

・最も多かった内容が、人・こと・物との「出会い」により、挑戦や夢をもつようになった作品が10点だった。

・多感な高学年女子が、情報や体験から新たな挑戦や未来に向けた夢を持ち、自己成長へとつなげていく姿が読み取れて、頼もしいと思った。

2. 音声

・思いを言葉にのせて、はっきりした口調で発表したり、普段から発声練習が鍛えられた自然の声で、聴き手の耳に無理のない、聞こえのいい発表があったりした。

・間の使い方が優れている、声の変化にも慣れている発表があった。

・課題としては、語尾だけが聴こえたり、一本調子であったり、言葉が詰まったりした発表があった。

3. 態度

・豊かな表情と自然体のジェスチャーで、内容をうまく伝えている発表があった。



- ・課題としては、作文を讀むような発表であったり、ずっと前かがみでの表現であったり、下方を向いたためか声がよく通らなかったり、残念な発表があった。
- 4. その他
 - ・一人ひとり呼名されたら、発表者全員から元氣な声で「ハイ！」という明るい声が帰ってきた。
 - ・全員が、服装が清楚で好感がもてた。
 - ・今年度はジュエスチャーについて、具体的な審査基準が設けられ、審査で意見がわれる事もなく審査進行上、有効であった。
 - ・課題としては、時間オーバーが2人いて、減点となりもったいなかった。

- 3. 態度
 - ・堂々としていて良い。
 - ・表現力豊かで、堂々としている点は評価できる。
 - ・語尾が伸びたり、アクセントのつけ方（抑揚）に課題がある。
 - ・強調したいところは、声を大きくするという誤解がある。むしろ、間の取り方を大事にして欲しい。

（中学校・男子…西原東 中学校）

1. 内容
 - ・いずれも中学生らしい内容で良かった。
 - ・実体験をもとにして意見を述べられており、前向きな姿勢は好感が持てた。
 - ・根拠となる具体例が不適切であったり、文脈がスムーズではない意見もあり残念だった。



（中学校・女子…ゆうなホール）

1. 内容
 - ・身近な題材を取り上げ、建設的で前向きに自身自身を変えていく話に感動した。



- ・原稿を自分のものにしてている。（丸暗記ではなく、説得力のある意見発表だった。）
- ・時間超過による減点者が3名いたことは残念だった。



- ・課題としては、文中に適切な言葉もなかった。
- 2. 音声
 - ・うっとり聴かせる語りが素晴らしい。（普段の生活で育まれたもの）
 - ・しっかりと届く声だが、早口になってしまった。
- 3. 態度
 - ・マイクの調整も良かった。
 - ・台に手が掛からない方が良い。
 - ・表情の豊かさ自然な態度。
 - ・聴き手を意識している。

平成27年度 第66回沖縄県童話・お話・意見発表大会中頭大会 審査結果

| | 地区 | 学校名 | 学年 | 氏名 | 演題 | |
|-------------|-------|------|--------|----|--------|---------------|
| 最優秀賞 | 小低・男子 | 那覇地区 | 大岳小 | 3 | 田村 晴 | 花さき山 |
| | 小低・女子 | 中頭地区 | 恩納小 | 3 | 玉城 美柚 | 王様になったヤンバルクイナ |
| | 小高・男子 | 中頭地区 | 島袋小 | 5 | 新野 夏南人 | 四つの約束 |
| | 小高・女子 | 中頭地区 | 普天間第二小 | 5 | 国吉 あん | あいさつはまほうの言葉 |
| | 中学・男子 | 那覇地区 | 真和志中 | 3 | 高良 玲央 | 継承者の一人として |
| | 中学・女子 | 那覇地区 | 首里中 | 3 | 喜納 香音 | 私を支えてくれるもの |



第60回 日本PTA九州ブロック研究大会 福岡市大会

今こそ深めよう！学校・家庭・地域の絆
共に感じ、共に学び、共に育つ絆づくり

昨年10月24日(土)分科会・25日(日)全体会が福岡市内の各会場で開かれた。「今こそ深めよう！学校・家庭・地域の絆 共に感じ、共に学び、共に育つ絆づくり」

九州・沖縄の会員が多く集まり、熱い議論が行われた。全体会では、大会宣言、決議文採択などが行われるなか表彰式があり、沖縄県PTA連合会からも、多くの単Pや個人の方が表彰され、前会長の伊敷猛さんもここで感謝状を贈呈された。

全体会終了後の第一部基調報告では、被災地交流事業で仙台市の人々と交流を行った福岡市内の中学生達の報告があり、今も変わらぬ被災地の惨状と、人々の苦悩や力強さを生々しく伝



表彰者の皆さん



えていた。第2部基調講演では、女優の藤原紀香さんが講演を行った。「地球社会と共に」を演題とし、戦争や環境問題という世界の矛盾のなかで、苦しんでいる子ども達を助けるために世界中を飛び回っている様子を話していた。テレビで見せる女優の一面とは異なる芯の強さと優しさが感じられた。

九州ブロックPTA協議会表彰

◆個人の部

- 長山勝美 (屋部中PTA)
- 伊敷 猛 (嘉手納中PTA)
- 名幸芳徳 (北中城中父母教)
- 東盛政行 (中城中PTA)
- 仲村兼富 (仲泊小PTA)
- 中川康司 (鞆納中PTA)
- 上江洌定洋 (仲西中PTA)
- 阿波連秀敏 (浦添中PTA)
- 池原 宏 (浦城小PTA)
- 末吉信哲 (高嶺中PTA)
- 狩俣勝成 (北中PTA)

◆団体の部

- 上間喜仁 (石垣中PTA)
- 名護市立屋部中PTA
- 西原町立坂田小PTA
- 北中城立北中城中父母教師会
- 那覇市立金城中PTA
- 糸満市立糸満南小PTA
- 南城市立大里南小PTA
- 南城市立知念小PTA
- 宮古島市立北中PTA
- 石垣市立川平小中学校PTA

日本PTA全国協議会表彰

◆個人の部

- 大城 剛 (西原町P連)
- 仲村和也 (宮野湾市P連)
- 仲宗根宗英 (沖縄市P連)
- 大山 正 (那覇地区P連)

◆団体の部

- 大宜味村立 塩屋小PTA
- 嘉手納町立嘉手納中PTA

文部科学大臣表彰

親子の水曜日運動
啓発ポスター入賞者
最優秀賞

◆団体の部

知念怜香 (松島中3年)

優秀賞

- 名護市立屋我地中PTA
- 嘉手納町立屋良幼・小PTA
- 竹富町立西表小・中PTA
- 嘉手川倭華 (屋良小1年)
- 比嘉慎之佑 (宮森小4年)
- 大城秀平 (南風原中3年)

「三行詩コンクール」県代表作品決定!

「平成二十七年度楽しい子育て全国キャンペーン」家庭で話そう!
 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ〜三行詩コンクール」
 小学生の部五点、中学生の部五点、一般の部三点を沖縄県PTA連合会代表として選出しました。

○南城市立馬天小学校一年 崎濱あいか

すてきなゆめへとさそいだす、かぞくでももつえほんじかん。

○南城市立馬天小学校三年 棚原みなみ

おはようさん 元気しゅっぱつ てくてく登校

○嘉手納町立嘉手納小学校一年 かなはと

ねるまえの おやすみぎゆつは いいきもち 一日のごほつびみただな

○嘉手納町立嘉手納小学校一年 あげなみゆ

はんごつき わたしとままの ちえくらべ

○南城市立勝連小学校二年 くらひつゆあ

とつごつ中、ママもすきつぷらんぷらんぷらん

○南城市立玉城中学校三年 稲福歩奈

家族とは何でも話せる いやしの場

○南城市立玉城中学校三年 屋宜妃菜

スマホじゃなく 家族と話そう 食卓で

○南城市立玉城中学校三年 仲里梨々香

他愛ない 昼間の出来事 しゃべり出す 子ども3人 誰から聞こう

○那覇市立古蔵中学校一年 嘉数沙季

一日の命を大切に、家族と話してなやみも解決! 家族以外に何がいる。

○那覇市立古蔵中学校一年 安里夢

つらいとき いつでもとなり家族のきずな

○那覇市立葦屋小学校 吉門美香

我が家の「あいいうえお」

あいさつをする いつもげんきに うそはつかない えがおをわすれず おもいやりをもつ

○浦添市立前田小学校 金城由佳

あいさつ 一緒にご飯 きゅくつとハグ

○読谷村立喜名小学校 小橋川君代

日中、文句を言う君と闘い腹を立て

我が家の子育て

世の中で一番大切なのは

那覇地区PTA連合会

会長 上原 博

世の中で一番大切なのは何か解る?と我が家の子ども達に質問すると、即答で「命」と答える。それは子ども達が小さい時から何度も問い続けてきて子ども達といっぱい話をしよう。「コミュニケーションを図ろうとした結果だろう。

普通の親なら「勉強しろ」と言うのだろうが、ほとんど言った事がない。それよりは「ちゃんと挨拶しなさい」「返事しなさい」と言う事の方が多かったと思う。

それに対して子ども達は「挨拶してるよ」「返事してるよ」「外ではちゃんとやってるよ」と言う。でも、家庭内で出来ない事が外で出来るはずがない。

「家なれーる外なれー」それに声が小さかったり、態度がわるかったりすると挨拶や返事は相手に伝わらない。返事したつもり、挨拶したつもりになっていないと思う。

こんな事を何年も続けていると嫌がられるが段々と良くなってきたと思う。

やはり躾、教育の原点は家庭教育にあるのだろう。

それから子ども達がやりたいと言ってきた事は何でもやらせている。

部活動、生徒会、習い事研修会、サークル活動、旗頭、その他。学業との両立は大変だと思いが頑張っている姿を見ると嬉しくなる。

そんな無限の可能性を秘めた子ども達を応援するのが親の役目だと思ふ。

部活動、生徒会、習い事研修会、サークル活動、旗頭、その他。学業との両立は大変だと思いが頑張っている姿を見ると嬉しくなる。

そんな無限の可能性を秘めた子ども達を応援するのが親の役目だと思ふ。

沖縄県PTA研究大会那覇大会

平成28年1月24日(日)
全大会：浦添市てだこホール

大会スローガン

「PTAが家庭・学校・地域の架け橋」
～ハイサイ!ハイタイ!笑顔を広げよう～

第14回



社会教育指導員・
認定キャリア教育
コーディネーター
惣慶 貴子さん

活躍できる場、認められる場、期待される場を

子ども達の健全育成事業に取り組み、豊見城市青少年育成市民会議の事務局を担当しています。主な事業は、『少年の主張大会』『青少年リーダー育成事業』『深夜はいかい及び非行防止街頭指導活動』やスポーツをおしての健全育成など様々な取り組みを実施しています。

子ども達の“活躍できる場” “認められる場” “期待される場”に繋がりました。地域のパティシエや、ナメの関係と言われる年齢の近い社会人をサポーターとし、売上げを子ども達の要望から、東日本大震災の支援金としました。

また、キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」を育めるよう、能動的に活動し、自己理解・自己管理能力、課題対応能力などを引き出しながら、毎回のプログラムで達成感を感じ自己肯定感を高める工夫をしました。

また、結果、子ども達の表情は変わり、自ら取り組む姿勢が見られました。子ども達は今後も様々な壁に直面するかもしれませぬ。そんな時に、今回の体験から学んだ地域の温かさを思い出して欲しい。子ども達と初対面の瞬間、「大人や社会の都合で子ども達の可能性を潰してはならない。」と感じました。今日の続きが子ども達の未来へと繋がっている。今後も地域と手を取り合いながら、子ども達の生きる力を育んでいきたい。

安全委員会より 会員のみなさまへ

子ども達の幸せのためのPTA活動が思わぬ災害によって、会員がお困りになることが数多く起こっています。このことは会長さんはじめ、会員同士としても心痛むことです。これらの災害に対して不安を解消し、より充実したPTA活動が展開されるよう「PTA・青少年教育団体共済法」に基づき共済事業を実施しています。

| けが | 共済金額 |
|-----------------------------|---|
| 死亡共済金 (死亡したとき) | 400万円 |
| 入院共済金 (入院したとき) | 入院1日につき (180日限度) 5千円 |
| 通院共済金 (通院したとき) | 通院1日につき (90日限度) 3千円 |
| 固定具を 装着したとき | 固定具を装着した日数、1日につき1,000円 軟性装具(取外し式)500円 ※但し、固定具使用期間が入院・通院」と重なる日数を除く。 ※眼鏡・コンタクトの場合 損害額5千円以下の場合は給付しない。5千円を超える場合は、損害額の1/2を支給する。限度額は2万円とする。 |
| 実日数の合計(180日限度) | |
| 入院および 通院したとき | 入院+通院+固定具装備の 実日数の合計(180日限度) |
| 後遺障害共済金 (後遺障害が 残ったとき) | 400万円～3万円 |

編集後記

年明け、某リゾートホテルが打ち上げるハッピーニューイヤー花火を自宅で見ながら、今年のテーマ漢字1文字を決めました。それは「地」です。これから、しっかりと地に足をつけて他人(ひと)に惑わされることなく自律した子育てをしていこうとなぜか強く誓いました。「子育ては自分育て」今、多くを学ばせてもらっているこの状況に感謝し、2016年申年、より良い情報発信ができるよう努力していきます。(新垣早苗)

広報委員

比嘉志麻子(島尻) 新垣 早苗(中頭) 末吉 建作(那覇)

伊波 郁美(那覇)

通信委員

仲間 里枝(国頭) 大川 艶子(宮古) 鬚川 美穂(石垣)

加入してよかった!みんなに勧めよう!

保護者の皆様の強い要望から生まれた

沖縄県 PTA 連合会推薦の

『小・中学生総合保障制度』

(こども総合保険)



=引受保険会社=

AIU損害保険株式会社 沖縄支店

=保障制度に対してのお問い合わせは=

◆小・中学生総合保障制度事務局◆

(あい保険工房内)

住所 : 〒901-2126 浦添市宮城2-24-2

TEL : 098-878-0025